

「あなたの腸は大丈夫？ 大腸がんと過敏性腸症候群(IBS)対策」

近年、わが国では直腸と結腸を合わせた「大腸がん」の罹患者数が増加しています。大腸がんは早期発見・治療ができれば、ほぼ完治できますが、検診率が低いこともあり、進行した状態で発見される傾向にあります。また、若年層においてはストレス等により過敏性腸症候群が増加傾向にあるなど、腸の健康について、トータルで考える必要があります。

今回のセミナーでは、腸の代表的な疾患である「大腸がん」「過敏性腸症候群」について、原因や予防方法、検診の重要性などをわかりやすくご紹介します。

参加費
無料

◎日時 平成23年 **9月7日** (水) 18:30~20:30 (開場 18:00)

◎会場 女性就業支援センター ◎定員 **250名** ◆お申込みは、裏面をご覧ください。
(旧 女性と仕事の未来館)



「あなたの腸は大丈夫？ 大腸がんと過敏性腸症候群(IBS)対策」

基調講演： **日比 紀文 先生**

慶應義塾大学医学部消化器内科 教授

◎主催 財団法人 東京顕微鏡院 / 医療法人社団 **こころとからだの元氣プラザ**

◎後援 厚生労働省、東京都、健康日本21推進全国連絡協議会、日本栄養士会、東京都栄養士会



◎シリーズ『働きざかりから始める、人生80年時代の健康づくり』

戦後、わが国の平均寿命は、生活環境の改善や、医学の進歩により急速に延び、厚生労働省の平成21年簡易生命表によると、男性の平均寿命は79.59年、女性の平均寿命は86.44年です。しかしその一方で、現代の食生活、運動習慣などを原因とする生活習慣病が増え、その結果、寝たきりなどの要介護状態になってしまう人々が増加しています。

このシリーズは、特に働きざかりからの健康づくりの重要性に着目し、「健康寿命(寝たきりにならない状態で自立して生活できる期間)の延伸」や「生活の質の向上」に役立つ講演を企画しています。

第11回

11月2日(水)

なぜ減らない！ 糖尿病の実態と予防対策

岩本 安彦 (東京女子医科大学 常務理事 名誉教授)

現在、およそ国民の5人に1人は糖尿病もしくはその予備軍と言われています。「予備軍」の方の中には、そのまま放置して深刻な事態に陥る方も少なくありません。糖尿病の予防や早期治療の重要性、進行を防ぐにはどうしたらよいかをご紹介します。

第12回

12月9日(金)

働き世代の心臓病・脳卒中対策！ ～コレステロールとどう付き合うか

寺本 民生 (帝京大学医学部 学部長)

心臓病・脳卒中を引き起こす動脈硬化の危険因子として、血中の悪玉コレステロールの増加や高血圧が挙げられます。これらの“血管疾患”を予防するにはどのような生活習慣を送ればいいのか、コレステロール対策を中心にをご紹介します。